



2017年12月20日

京都府との『地域活性化包括連携協定』の締結について

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、地域活性化と府民サービスの向上を目的として、京都府（知事：山田 啓二）と『地域活性化包括連携協定』を本日締結いたしましたのでお知らせします。

1. 背景・経緯

損保ジャパン日本興亜は、「府民・行政、NPOなどの地域の課題解決に向けた協働を通じ、持続可能な社会づくりに貢献すること」をCSR（企業の社会的責任）の重点課題のひとつに掲げており、京都府の地域活性化と府民サービスの向上に貢献するため、京都府との地域活性化包括連携協定の締結に至ったものです。

なお、京都府が地域活性化包括連携協定を締結するのは、10社目となります。

2. 協定の目的

京都府と損保ジャパン日本興亜は、防犯・交通安全等の個別の取組みを通じて協働を図ってきましたが、さらに幅広い分野での相互の連携強化と協働を行うことにより、一層の地域活性化と府民サービスの向上に取り組めます。

3. 協定の主な内容

損保ジャパン日本興亜の強みや特徴が活かせる以下の6分野で連携します。

- (1) 地域の防災・減災、安心・安全に関すること
- (2) データサイエンス等を活用した府民サービス向上に関すること
- (3) 女性活躍支援に関すること
- (4) 中小企業支援に関すること
- (5) 医療・介護等に関すること
- (6) その他、地域活性化と府民サービス向上に関すること

4. 今後について

損保ジャパン日本興亜は、今後も地方自治体と連携し、各地域がそれぞれの特徴を活かした自立的で持続的な社会を創出することに貢献していきます。

以上